

平成28年度第6期川崎区区民会議（第2回全体会議）摘録

日 時：平成28年10月28日（金）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 18名

新井トキ子、新井一成、岩瀬絹代、浦野一吉、江守千恵子、木村一三、須山令子
高橋順子、知念ジョアンナ、塚原晴美、戸村正房、堂本典子、中村紀美子
能條重信、埜瀬晴美、朴昌浩、峯尾照、吉澤義子

欠席 原千代子、森脇卓郎

参与 1人

西村恭仁子参与

傍聴 0人

（進行：山口副区長）

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
- 堂本委員ご挨拶
- 配布資料の確認

2 区長挨拶

（土方区長）

本日はお忙しい中、また、お足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。この間、専門部会の活動に力を入れていただき、厚く御礼申し上げます。

本日は、2つの専門部会における進捗状況の報告です。全体会議ですので、専門部会の垣根を越えて、忌憚のない意見交換をしていただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

（進行：新井トキ子委員長）

3 議題

（1）各専門部会の進捗状況について

かくせんもんぶかい しんちよくじょうきょう すす かわさき ぶかい およ
各専門部会の進捗状況について、「進めよう川崎まちづくり部会」及び「だ
れもが住みたいまちをつくる部会」の両部会から報告・説明を行った。
かくせんもんぶかい しんちよくじょうきょう いけん こめんと いか
各専門部会の進捗状況について、意見・コメントは以下のとおり。

① すす かわさき ぶかい しりょう
① 進めよう川崎まちづくり部会（資料1-1、1-2）

さいがいたいさく
＜災害対策について＞

あらい かず いいん だい きくみんかいぎ ぼうさいまっぶ ちく おこな もと
新井（一）委員 第5期区民会議で防災マップづくりを1地区で行い、それを基
にマニュアルを作成しました。この取組を実践的に広げていきたいです。

いわせい いん わたし じじょ たいせつ けいはつ だいじ おも ひがしにほんだいしんさい
岩瀬委員 私は「自助の大切さの啓発」を大事に思っています。東日本大震災、
くまもとじしん とっとりじしん つづ はっせいじ いしき たか じょじょ いしき
熊本地震、鳥取地震と続いており、発生時は意識が高まりますが、徐々に意識
が薄れていってしまうことが現状だと思います。

また、さいがいじ やくだ かし ぼうさい ぐっず つく
また、災害時に役立つお菓子として、「防災せんべい」のようなグッズを作っ
て、ちらしとしてのこうかもちも かくかてい はいふ とりくみ
て、ちらしとしての効果もちもち、各家庭に配布するなどの取組をやってい
きたいと考えています。啓発の取組としては、しょうちゅうがくせい ぼうさい ぼすたー
小中学生から防災のポスター
を募集するなど良いかと思えます。

たかはしいん せんじつ し ぼうさいくれん さんか さい けいたいといれ ぼうさいぐっず
高橋委員 先日、市の防災訓練に参加した際、携帯トイレなどの防災グッズの
てんじ つか かた せつめい じぶん す
展示や使い方の説明などがあり、とてもためになりました。自分が住んでいる
ちいき ぼうさいしせつ ぐっず つか かた はあく ひつよう
地域の防災施設やグッズなどはどのような使い方なのか、把握しておく必要が
あると感じました。

どうもいいん ちょうない かいらんばん ぼうさいぐっず こうにゆう し まわ
堂本委員 町内の回覧板で防災グッズの購入のお知らせが回ってきたことが
ありました。そういったものを見る度に、用意しておかなくてははいけないと思
っていますが、じじょ たいせつ けいはつ いみ こ ていきでき かいらん
っていますが、自助の大切さの啓発の意味を込めて、定期的に回覧していくこ
とも大切だと思います。

よしざわいいん わか かた はなし き さいがいじ ぎょうせい なに おも
吉澤委員 若い方のお話を聞いていると、災害時は行政が何かしてくれると思
っていて、じしん なに じゅんび かんが も かた おお いんしょう
っていて、自身で何かを準備するという考えを持っていない方が多い印象で
す。さいがいちよくご ぎょうせい しえん はじ かぶん す
す。災害直後は行政もすぐに支援を始められるわけではないので、3日分過ご
せるみず しょくりょう そな じじょ たいせつ けいはつ ひつよう
せる水と食料を備えておくことなど、やはり自助の大切さの啓発は必要だと
おも
思っています。

こうつうあんぜん
＜交通安全について＞

みねおいいん わたし じてんしゃ こうつうあんぜん かん もっと き
峯尾委員 私は自転車の交通安全に関して、最も気になっておりますが、
ルールやマナーをどんなに啓発しても、なかなか守ってくれないと思えます。
なに じょうきょう おも なに ちえ しぼ
何をやっていいかよくわからない状況だと思いますが、何とか知恵を絞って、
よい とりくみ かん
良い取組になるといいと感じています。

のせいじん じてんしゃ うんてん うえ る ー りかい かつた おお
埜瀬委員 自転車を運転する上でのルールは、よく理解できていない方も多く、
わたしじしん し おも る ー りかい うえ まな ー
私自身も知らないこともありますが。ルールを理解した上でマナーがあ
ると思うので、そういったルールを子ども達にもわかりやすいように、啓発し
ていく必要があると思います。

あらい と いいん わたし こうつうあんぜんたいさくきょうぎかい しょぞく こうつうあんぜんうんどう
新井(ト)委員 私も、交通安全対策協議会に所属しており、交通安全運動な
どの啓発活動をやっていますが、チラシなどを配布しても捨てられることが多
いのです。力を入れて取り組んでいるのですが、なかなか理解が得られないこ
とが現状です。

のせいじん すけあーど すとれいと とりくみ かいすう ふ けいはつ
埜瀬委員 スケアード・ストレイトなどの取組の回数がもっと増やせれば、啓発
になるのではないのでしょうか。

あらい と いいん すけあーど すとれいと じっし たか よさん
新井(ト)委員 スケアード・ストレイトも実施していますが、高い予算がかか
るため、あまり多くの回数を実施できないのが現状です。また、事故を実際に
目のあたりさせるため、小学生には刺激が強すぎるというご意見も出ていま
す。以前は、中学校、高校で実施しました。

とむらふくいんちやう よさん もんだい かわさきく けんない じてんしゃじ こけんすう もっと
戸村副委員長 予算の問題はありますが、川崎区は県内で自転車事故件数が最
も多いため、予算のかからない範囲で何かしらの取組を続けていく必要がある
とします。子ども達から啓発ポスターを募集するなどの取組であれば、予算もかか
らずに実施できるのではないのでしょうか。

あらい と いいん こうつうあんぜんたいさくきょうぎかい ほう しょうがくせいしんいちねんせい ぼすたー か
新井(ト)委員 交通安全対策協議会の方で、小学生新一年生にポスターを書い
てもらう取組も実施していきまして、12月に表彰式をやる予定になっています。

きき かんりたんとうかちやう しんにゆうがくじどう こうつうあんぜん え こんくーる なまえ しん
危機管理担当課長 「新入学児童 交通安全 絵のコンクール」という名前で、新
小学一年生を対象に、交通安全をテーマに絵を書いてもらって、コンクール
を実施しています。全国的にも小学一、二年生が交通事故に遭ってしまう確率
が高い統計が出ており、啓発の意味も込めて実施しています。川崎区内の小
学校から1,350作品の応募があり、72作品を優秀作品として選出し、12月3日
(土)に表彰式を行う予定です。展示については、機会を捉えてやってい
く予定です、市営バスにも展示する予定です。

とむらふくぶかいちやう え ほか ひやうご
戸村副部長 絵の他に標語はやっていたりするのでしょうか。

きき かんりたんとうかちやう こんねんど とりくみ え ひやうご じっし
危機管理担当課長 今年度の取組としては、絵のみで、標語は実施しておりませ
ん。

＜観光・文化（音楽）について＞

ちねんいん じょうほう がいこくじん い とど かだい まいかい かだい で
知念委員 情報が外国人に行き届いていないという課題は、毎回課題として出
るとおもいますが、観光マップはもう市が作成してあるのではないのでしょうか。

どういった視点で作成するのか、何か考えはありますか。
 浦野部長 こういった観光に関するマップは、様々な部署や団体から出されています。観光客としては、たくさんありすぎてどれを見ればよいかわからないと思います。そのため、様々なマップを一元化して、さらに、区民目線から、川崎区内の観光資源をピックアップして、作成していきたいと考えています。川崎区自体の魅力は、区民も理解していない場合があります。そういった魅力向上のため、川崎区独自の、港やマリエン、工場夜景など新しい視点からの観光マップが必要だと感じています。

江守委員 観光協会は、現在、アゼリア内の京急観光の一面をお借りしており、様々なパンフレットやマップを置いています。

中村委員 観光協会は、現在、北口ができるまでということで、仮の場所なのですが、可哀想な場所にあります。区内の観光については、今後、市の体育館があった跡地に総合スポーツ施設の竣工が予定されているなどの動きがあります。

② だれもが住みたいまちをつくる部会（資料2-1、2-2）

<高齢者・障害者福祉について>

戸村副委員長 第5期で取りまとめたパンフレットについて、良い見守り活動を行っている4団体の取組を、先日、区民車座集会で改めてお話を聞きましたが、素晴らしい取組だったと思います。今後、良い見守り活動の方法を各町会に普及させることをマニュアル化するような取組があると良いと感じました。

<子育てについて>

塚原委員 作成を検討する地域情報誌はどんなものでしょうか。既に多くのものが出ていますが、どういった視点で作成していくのでしょうか。

須山委員 お母さんと子ども達と一緒に活動をするという機会が減ってきており、母親クラブなども無い地域もあります。先日、あるお母さん達と話すことがありましたが、高齢者の力も借りながら地域で子育てができる環境ができるといいといったご意見をいただきました。子育てサロンなども、人数が集まらない状況になっていて、色々苦労があるということも聞きました。町会や幼稚園、保育園などが連携して、お年寄りとお若い親子などのつながりが持てる場を作っていく必要があると感じました。

また、昔、大師地区の子育てサロンに携わっていた際に、子育て関係の地域

の情報を掲載したマップを作成したら、お母さん達から喜ばれて使ってくださいました。昔のものなので、さらに新しいものを作っていくのはどうかというところで考えています。

江守委員 様々な団体で、マップや情報誌のようなものは作成しています。そういうものを総合する形で、新たに「高齢者のため」「子育てのため」といった視点に特化した形で、作成すると良いのではないかという議論までで終わっており、その後の詳細な議論はまだできていない状況となっています。

＜外国人市民について＞

朴委員 私は外国人市民代表者会議に出席しましたが、外国人の方の中にも、自分から積極的に情報を得ようとしている方もいます。川崎区は市内他区より外国人居住者も多いので、取組は進んでいる方であると思いますが、市内他区のお手本になるような取組をやりたいと思います。
川崎区内だけでなく、全市的に外国人の方のご意見を聞く場を持つことも良いかもしれません。

③ 両部会共通の内容について

木村委員 両部会の全分野にわたって言えることですが、世の中には情報が溢れており、さらに新しい情報にどんどん更新されていきます。情報を得る側の人間は、何を見れば自分が欲しい情報が手に入るのかわかりにくい状況であると言えます。どういったマップや情報誌を作るのか、視点を定めていくことは難しいと思いますが、両部会良いものが作成できるといいと思います。また、防災マップなどはもう1地区でやられているので、その普及にも力を入れて、広めていくことが大切だと思えます。

能條委員 今期は、両部会の多くの分野で、情報誌やマップ作成をする方向性になっていると思います。区民の視点から考えると、何を見れば自分の欲しい情報が手に入るのかが分かれば良いので、各分野でそれぞれを作るより、基本は同じものとして作成し、対象者や地区別によって枝分かれするようになっていると、区民にとって分かりやすいし、我々作る側の区民会議にとっても手間が省けると思います。

(2) 審議スケジュールについて

審議スケジュールについて、「資料3：「審議スケジュールについて」を用い

て、事務局が説明を行った。

審議スケジュールについて、主な意見・コメントは出なかった。

4 その他

- ・ 次回の全体会議は2月に開催する。
- ・ また、2月には、区民会議フォーラム、区民会議交流会も開催予定である。
- ・ 出席された参与にもコメントをいただいた。コメントは以下のとおり。

にしむらくに こけんぎかいぎいん
(西村恭仁子県議会議員)

本日は長時間にわたり、ご議論お疲れ様でした。皆様の議論を大変興味深く聞かせていただきました。本日、議論を聞いていて思ったことは、資料の各所に防災マップやガイドマップ、地域情報誌などの言葉がありますが、現物が無くて議論しづらさうだと感じました。参考資料として何か議論の参考になる資料があれば、もう少し議論がスムーズに進むのかなと感じました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

5 閉会

ひじかたくちょう
(土方区長)

本日は長時間にわたり、熱心にご議論いただきありがとうございます。本日はそれぞれの部会の取組について、途中経過を報告していただきました。今後ともそれぞれの部会での具体的な調査審議を、お忙しい中ですがどうぞよろしくお願ひします。

へいかいせんげん
■閉会宣言

ごごじ ふんへいかい
午後8時00分閉会

いじょう
(以上)